

質問に対する回答書39  
東京外環自動車道 八潮パーキングエリア工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	単価表 番号2 道路掘削B1-1 単価表 番号3 道路掘削B1-2 単価表 番号11 捨土掘削A	貸与資料(第2期迂回路工事用道路(土工計算))の土量計算書の総括表 道路掘削B1-1; 4,523.6m <sup>3</sup> 、道路掘削B1-2; 1,854.3m <sup>3</sup> 捨土掘削A; 2,732.4m <sup>3</sup> 合計数量; 9,110.3m <sup>3</sup>  土量計算書、東埼玉道路(第2期迂回路)設計図;横断図(その1)~横断図(その8)及び 取付道路一般図 道路掘削B1-1 上部路床(2,277.5m <sup>3</sup> +39.2m <sup>3</sup> =2,316.7m <sup>3</sup> )⇒地山土量2,662.9m <sup>3</sup> 下部路床(1,500m <sup>3</sup> +89.7m <sup>3</sup> =1,589.7m <sup>3</sup> )⇒地山土量1,827.2m <sup>3</sup> 上部路床+下部路床 4,490.1m <sup>3</sup> (地山土量) 道路掘削B1-2 路体(1,639.0m <sup>3</sup> +8.4m <sup>3</sup> =1,647.4m <sup>3</sup> )⇒地山土量1,893.6m <sup>3</sup> 捨土掘削A 差引き土量(2,336.6m <sup>3</sup> +35.6m <sup>3</sup> =2,372.2m <sup>3</sup> )⇒地山土量2,726.7m <sup>3</sup> 合計数量;9,110.4m <sup>3</sup> 総括表の数量と土量計算書の合計数量がほぼ一致していますが、単価表の数量に差異 があるのは、別途何か考慮されているのでしょうか。ご教示下さい。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
2	特記仕様書 P32 26-8 構造物掘削	特殊部B、特殊部Gの埋戻し材は掘削土の流用で充足されると思いますが、内容5)に八 潮土取場における埋戻し材の積込み、運搬、荷卸しとありますので、さらに八潮土取場か ら埋戻し材を運搬するのでしょうか。ご教示下さい。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
3	附帯工設計図 31/45 架設ヤード平面図	架設ヤードの設置目的及び設置期間をご教示下さい。	架設ヤードの設置目的については、別工事の八潮パーキングエリアBランプ 橋及びCランプ橋の架設ヤードとして使用するものです。 架設ヤードの設置期間については現在内容確認中ですので、確認でき次 第お知らせいたします。
4	単価表 番号8 道路掘削D1-2	貸与資料 連絡施設等(土工計算)の総括表で道路掘削D1-2の数量は2,883m <sup>3</sup> ですが、 PAランプの土量計算書の路体の数量28.3m <sup>3</sup> が抜けているように思われます。28.3m <sup>3</sup> を加 えると路体盛土の合計は2,539.2m <sup>3</sup> となり、単価表の数量は地山換算で2,919m <sup>3</sup> になるの ではないでしょうか。ご教示下さい。	道路掘削D1-2における数量は設計図書に示すとおり2,883m <sup>3</sup> です。
5	特記仕様書 P11 14. 工事用道路に関する事項	工事用道路②、工事用道路③の撤去時期をご教示下さい。	工事用道路の撤去時期については、軟弱地盤対策工設計図50/50に示す 軟弱地盤対策工ステップ図を参考に貴社の施工計画に基づきお考えくだ さい。
6	東埼玉道路(第2期迂回路)設計図 21/39 標識板詳細図	標識板詳細図に速度規制の標識板がありませんので、東埼玉道路(第2期迂回路)には 速度規制はないのでしょうか。 ご教示下さい。	東埼玉道路(第2期迂回路)の速度規制は40km/hとなります。 なお、設計図書どおり速度規制の標識板の設置は必要ありません。
7	特記仕様書 P29 26-4-2(1)道路掘削A	道路掘削Aについて「盛土の立上がり速度」は、「1日15cm」と記載があります。ここで盛 土は、1層を15cmとして、敷均しから転圧までを行うということでしょうか、ご教示下さい。	そのとおりにお考えください。